



グラウンドゴルフ

発行/埼玉県グラウンドゴルフ協会 編集発行人/宮崎義重
事務局/〒346-0016 久喜市東2-6-7 ☎0480-21-5748・FAX0480-23-7100

各地で本県勢、健在ぶり発揮



県GG協会会長

宮崎 義重

会員の皆様、お元気ですか。今年は記録的な暑さで、真夏日が六〇日以上続き、会員の皆さんも何かとご苦労が多かったことと思いません。

今年から体育の日が変わりまして、一〇月九日になりました。秋はスポーツのシーズンです。広場に、そして校庭に、ホールポットの旗を見かけます。いつでも、どこでも、誰でも、気軽にできるグラウンドゴルフが、生涯スポーツとして各地に定着しつつある様子を見るにつけ嬉しくなります。

あの暑い、雷が鳴る行田市の夏期大会、この日の開催は危ぶまれたのですが行田市協会の皆さんによる会場の整備、運営のお陰で無事終了することができました。また、鬼怒川での上級指導者研修会には大勢の方々の参加をいただきありがとうございます。若干の反省として、グラウンドゴルフの基本を事前に勉強しておいていただきたかった点であります。

八月に行われた水戸市での関東大会には本県から一〇〇名以上の方々に参加いただき、女性の部では三郷市の八嶋さんが優勝を、また男性の部で上位入賞者を出し埼玉県勢の健在ぶりを示していただきました。

九月には熊本県高森町にて、第十三回グラウンドゴルフ交歓大会が行われ本県から三二名参加しました。個人の部、団体の部に分かれ競技が行われましたが本県は個人の部で深

谷市の石井さんがブロック優勝、団体の部(六人組)では加須市選抜が準優勝、しかも鹿児島チームに一点差での惜敗でした。

十月には石川県高松町で全国スポレク祭り(大会)が開催され本県より一〇名参加し、準優勝者を出すことができました。ちなみに上位一〇名中六名は地元石川県勢が占めました。最後に本年の県協会登録は昨年を上回り全国で第五位にランクされます。会員皆様のご支援ご協力の賜物と感謝申し上げますと共に十三年度は更に、市町村、県、全国、が一体となって発展することを期待して止みません。

本年度第二回理事会 開催される。

県協会、第二回理事会は去る一〇月二十一日(土)、大宮市で開催され、次の事項が決定致しました。

(一) 全国大会派遣の選抜について

開催県への選手登録期日に間に合うよう一部前年度の大会結果を以て選抜する。

- 1. 年リンピック 六名
 - 夏期大会 四名選抜(前年)
 - 指導者研修会 二名選抜(前年)
- 2. 全国スポレク大会 十名
 - 指導者研修会 二名選抜(前年)
 - 秋季大会 八名選抜(前年)

(二) 平成十三年新春大会について

日時、一月二〇～二十一日(土・日)
場所、茨城県潮来町
麻生グラウンド
宿泊、潮来ホテル

県上級指導者認定試験 並びに交歓大会

一級普及指導員 小原 孝

照りつける太陽、地面から立ちのぼる熱気の中、去る七月二十九日(土)三〇日(日)栃木県鬼怒川において上級指導者講習会と既指導者の交歓大会が行われました。

第一日目、今市市大谷川グリーンパークグラウンドゴルフ場での交歓大会は、お互いに励ましいい友好を深めながらプレーすることが出来ました。

午後からは開講式、講義は日本グラウンドゴルフ協会、指導育成委員の、中村 平先生による「地域スポーツ振興と企画」と題して話され、大変参考になりました。また、熱中症について、ルール解説、指導者としての心得、最後に試験、という日程で受験者にとっては大変長い一日であったかと思われれます。

今年から既取得者にも、ルール等の確認の意味で簡単な試験が行われ、参加されました皆さんは脳と心をさわやかに刺激されたことと思います。

夜は疲れも忘れ、成績発表、カラオケ、アルコールも入りお互いの交流、懇親を深めることができました。

第二日目は既取得者はプレーの実技、受験者は実技試験、と緊張の時間が続きました。本日に二日間受験されました皆様には暑い中ご苦労さまでした。合格されました方々には今後ともグラウンドゴルフの原点である「ルール、マナー」を守り、指導者として恥じない行動をしていただきたいと切望いたします。残念ながら不合格の方が例年になく多く出てまいりましたが、再度の挑戦を望んでおります。グラウンドゴルフが夫々の地域にますます普及発展し、技術を高め、友情を重ね活躍されることを切望いたします。

平成十一年度GG祭り

H十二・五・五
於 北川辺町 渡良瀬総合運動公園
全二十四ホール

谷田川の川風が時おり涼しさを運んで来る、そして遠くには渡良瀬遊水池を見る。実に風光明媚な会場の渡良瀬総合運動公園にやく一〇〇名余の参加者が集まりました。地元、北川辺町協会の配慮で特製ラーメン、桃太郎トマト、も人気を博し参加者を和ませてくれました。

- 優勝 飯島 忠三郎 46打 (越谷市)
- 準優勝 森 剛 47打 (北川辺町)
- 三位 小林 久右衛門 48打 (幸手市)
- 四位 小暮 キク子 50打 (深谷市)
- 五位 岡野 諄之助 51打 (越谷市)
- 六位 島田 康三 51打 (川里村)
- 七位 島田 高治 52打 (加須市)
- 八位 荒川 清枝 52打 (川里村)
- 九位 船戸 治信 52打 (三郷市)
- 十位 広瀬 徳子 52打 (加須市)
- 十一位 木村 国市 53打 (加須市)
- 十二位 吉村 富士夫 53打 (深谷市)
- 十三位 大久保 守利 53打 (三郷市)
- 十四位 小野田 正一 54打 (加須市)
- 十五位 三村 京子 54打 (川本町)
- 十六位 原口 昇一 54打 (吉見町)
- 十七位 福島 勝江 54打 (加須市)
- 十八位 春山 文雄 55打 (羽生市)
- 十九位 小峰 まつ子 55打 (加須市)
- 二十位 影山 キクエ 55打 (加須市)

大会が集中し
回は県協会主
集致しました。
で、参加者を
層かき立てま
アー 栄光へ
(以下日程順特集)



第十二回・夏期大会

H十二・七・二
於 行田市総合運動公園
全三十二ホール

この日グラウンドは前日の雨で大分水分を含みの状態でありましたが、行田市ゴルフクラブ協会の皆様による懸命なご努力で会場整備も終わり、予定通り開催することができました。グラウンドは全面ダートで余裕あるコース設定のもとで全国スポレク祭への県予選会にふさわしい大会となりました。

- 優勝 藤野 親守 63打 (川本町)
- 準優勝 島崎 信義 69打 (北川辺町)
- 三位 鈴木 秋太郎 69打 (鷲宮町)

- 四位 三本松 清 69打 (岩槻市)
 - 五位 深町 龍 69打 (春日部市)
 - 六位 児玉 明 70打 (岩槻市)
 - 七位 佐々木 文 70打 (三郷市)
 - 八位 富永 テル 71打 (草加市)
 - 九位 船戸 治信 71打 (三郷市)
 - 十位 沢崎 明 72打 (羽生市)
 - 十一位 鈴木 豊 73打 (菖蒲町)
 - 十二位 宮崎 重 73打 (加須市)
 - 十三位 鈴木 敏 73打 (草加市)
 - 十四位 遊馬 芳三 74打 (大宮市)
 - 十五位 木村 和衛 74打 (越谷市)
 - 十六位 馬場 慎吉 74打 (川本町)
 - 十七位 藤本 弘道 74打 (皆野町)
 - 十八位 奥野 正義 74打 (熊谷市)
 - 十九位 原口 鉄太郎 75打 (吉見町)
 - 二十位 大室 かほる 75打 (上尾市)
- 附記 県大会における優勝スコアが、
今大会でまた記録更新。昨年の秋季大会(浦和市)で加須市の宮崎義重県協会長の66打で更新されたばかりでした。

第八回関東地区大会

お見事! 三郷市のご婦人方
ワンツデーフィニッシュ

空はどこまでも青く、会場の森の樹々はあくまでも緑一色の盛夏、此処は水戸市の郊外、総合運動公園。関東一都七県の選手六四六名の参加による第八回関東地区グラウンドゴルフ大会が二日間に亘って開催された。

コースは野球場の四面を利用し、一コースから四コース、それぞれ十六ホールのダブルコースで、芝とダートのミックスホール。芝はよく手入れされ、適当な走りで良コース。

本県からの参加は一二三名で、一ゲーム目には早くも三連続ホールインワン、

スコア八でホールアウトの杉戸町の会長・森田さん。二ゲーム終わった所で二六・二八・三〇(岡庭・福岡・八嶋)の三郷市のご婦人三名まさに男子顔まけ。かくして二日目も歓声があがり三郷市から参加したご婦人連一・二・四位、男子一名が九位と全員の入賞となる。

- 男子
- 三位 篠崎 満正 72打 (熊谷市)
- 六位 石井 健治 72打 (深谷市)
- 九位 八嶋 勝義 73打 (三郷市)
- 女子
- 優勝 八嶋 醇子 72打 (三郷市)
- 二位 福岡 ひで子 72打 (三郷市)
- 四位 岡庭 まさ子 73打 (三郷市)
- 六位 加藤 照子 73打 (北本市)



大会特集

(平成12年度)

県協会事業も第四半期に各種開催されており、そこで今催及び派遣する大会についてそれぞれ大会は特色あるもの感動させ、チャレンジ精神をす。

たかがスコア、されどスコアのチャンスはみな平等です。

第十二回・全国交歓大会

H十二・九・八〜一〇

於 熊本県高森町

世界に誇る、カルデラ阿蘇五岳「根子岳、高岳、中岳、杵島岳、帽子岳」に囲まれた南阿蘇「野と花と風薫る郷」において開催されました。参加者は総勢二〇〇〇名を数え、本県より四〇名が参加し、幾多の得難い経験と全国の愛好者と友好親善をはかることができました。

また、大会成績はブロック優勝者同士のプレイオフによって文部大臣杯を競い、惜しくも逃しましたが、全体として上位の成績を残すことができました。

団体の部……準優勝(埼玉チーム)

- 荒巻 清
- 荒巻 きよ子
- 堀越 信男
- 姉崎 キクエ
- 影山 隆
- 宮崎 義重

個人の部……ブロック優勝

- 深谷市 石井健治

第十三回 全国スポーツレクリエーション祭

スボレク・石川二〇〇〇

H十二・九・三〇〜一〇・二

於 石川県金沢市高松町

全二十四ホール

金沢市、県陸上競技場に三五〇〇〇人が集まり小雨降る中の開会式。生涯スポーツの祭典に相応しい幕明けてした。

友好第一、勝敗第二、和やかな雰囲気の中で二日目からは金沢市から車で一時間程の高松町グラウンドゴルフ場に移動してのプレーに入りましたが途中沿道には、ノボリ・旗看板、そして町民挙げての歓迎ぶりは、参加者の気持ちをいやが上にも高揚させてくれました。

特筆すべきは起伏に富んだ素晴らしい全面芝生コースと本県勢の大健闘(準優勝)であります。

- 優勝 山本博信 47打(石川県)
- 準優勝 宮崎義重 48打(埼玉県)



- 三位 真子 和信 49打(佐賀県)
- 四位 堀井 富二 49打(富山県)
- 五位 折戸 栄進 51打(石川県)
- 六位 竹中 外茂次 51打(石川県)
- 七位 生川 源生 51打(三重県)
- 八位 三宅 均 52打(石川県)
- 九位 安原 正一 52打(石川県)
- 十位 川島 弦二郎 52打(石川県)

第十三回秋季大会(青木一三杯)

スボレク三重選考会

H十二・十・二九

於 川越市安比奈親水公園

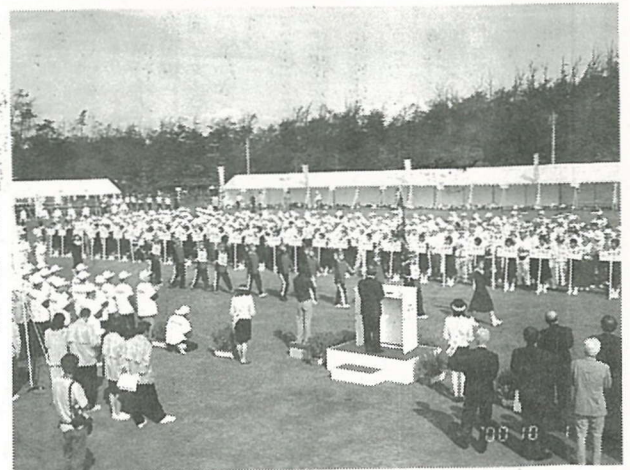
全三十二ホール

終日雨に見舞われた大会となりましたが参加者四四〇名の熱気で予定通り三十二ホールを消化し終了いたしました。

この日の会場は川越市の西部に位置する「安比奈親水公園」で入間川に沿った広大な芝生コースであります。

地元川越市協会の周到な準備と運営は、参加された選手の実力発揮に充分で余りあるものであります。

- 優勝 堀越 信男 72打(加須市)
- 準優勝 岡田 トシ子 74打(草加市)
- 三位 長谷部 操 75打(川越市)
- 四位 中山 美智子 75打(加須市)
- 五位 高橋 光秋 75打(川本町)
- 六位 石井 健治 75打(深谷市)
- 七位 酒井 康友 75打(三郷市)
- 八位 鈴木 敏男 76打(草加市)
- 九位 小暮 重之 76打(深谷市)
- 十位 野上 い紗子 77打(加須市)
- 十一位 星崎 善雄 77打(越谷市)
- 十二位 引間 雅男 77打(皆野町)
- 十三位 矢野 雅雅 77打(幸手市)
- 十四位 松本 広行 77打(加須市)
- 十五位 鈴木 治夫 77打(加須市)
- 十六位 笠倉 慧 78打(草加市)



- 十七位 小松 義昭 78打(狭山市)
- 十八位 吉岡 稔夫 78打(深谷市)
- 十九位 島崎 信義 78打(北川辺町)
- 二十位 米田 満昭 78打(三郷市)

第十三回年りんピック大阪

H十二・十一・三〜五

大阪のドーム球場を舞台に華麗な開会式で始まり、グラウンドゴルフは二日目から、枚方市の松下電器スポーツセンターで行われた。本県の代表六名は小学生の歓迎に胸を熱くしての健闘。

コースは全面ダート、ABC三本の並列コース。小砂利で微妙に変化するホールに手こずり、歓声とため息が交差した中にも、全国より集まった仲間三五〇名余の交流は和やかな雰囲気終始した。本県勢の上位入賞者を掲載します。

- 十位 篠崎 満正 (熊谷市)
- 十九位 滝澤 博 (杉戸町)

北から 南から 活動報告

北 部 大盛況 ふれあい大会 熊谷市 四分一 國夫

県北地区、各市町村のグラウンドゴルフ愛好者の交流と親睦を願って発足した『ふれあい熊谷GG大会』も第七回を迎えました。当初は四〇〇名程度の参加者が年々急増し、今回は七〇〇名を越す驚異的な大会になりました。

『ふれあい熊谷GG大会』の特色として何点が挙げると、大会会場が自衛隊熊谷基地の広大な運動場であること。そこには自衛隊の正門を入ると樹齢七〇年程の大木や老松の生い茂る豊かな林が心を和ませてくれます。

都会育ちの人達にとって武蔵野の自然を感じる貴重な場所でもあります。

自衛隊の前身である熊谷飛行学校の開校が昭和一〇年、昭和天皇の行幸が十三年、この運動場は飛行機の離着陸や高等飛行等が行われたところです。先般ある選手の方から次のようなお話をうかがいました。「私が十七才の時、少年飛行兵に見事合格し熊谷飛行学校で三か月間厳しい訓練を受けました。ここは青春時代を過ごした思い出の土地です。『ムタ』嘗ては操縦桿を握った手が今ではクラブに変えられ、平和な時代の到来を満喫されている方々も多いことでしょう。

参加者サイドに立った大会運営に鋭意努力する所存です。

西 部 大会は交流の場 東秩父 栗 島 信 一

当協会は埼玉県グラウンドゴルフ協会創立の翌年(平成二年)婦人学級を主体として発足いたしました。会員数も年々増加し平成十二年の登録会員は七地区一六一名となりました。特に最近男性会員が増え、全体の三分の一を占めるほどになりました。多くの会員が、地区での練習や年四回開催される協会主催の大会、県や郡の大会などに積極的に参加しグラウンドゴルフの普及、推進に努力しております。また、健康保持とスポーツ振興を目的に結果や順位にこだわらず日頃の練習や大会等を交流の場としてとらえ、明るく楽しくプレーをしています。

今年度、本村に『ふれあい広場』という多目的グラウンドがオープンし、これから落としてグラウンドゴルフ大会を開催し、協会会員の外、多くの人々に参加いただき、競技中笑い声の絶えない楽しい一時を過ごしていただきました。今後とも老若男女を問わず幅広い年齢層から愛好されるスポーツとしてグラウンドゴルフの普及と発展に努めて行ければと思っています。

南 部 最近の活動報告 草加市GG協会

当協会は今年で十二年目を迎え、現在三十二支部 一四一一名を数え市内全域にその広がりをみせております。

大会は年四回(協会主催一、市主催一、連合町会主催二)八〇〇〜九〇〇人規模

で開催されます。参加者は皆、『健康づくり』に、『ふれあい』に、そして『スコア』の追求』に真剣な中にも和やかな雰囲気会場は賑わいます。個人賞(男女別一〜一〇位)団体賞(上位五支部)その他賞を設け活発な支部活動と参加意識の高揚に努めております。

指導者育成講習会は既資格者も含め例年八月に実施し、県協会と連動させております。今年市認定受講者四十二名、既資格者一三三名の一六五名が参加し夫々が別々のカリキュラムで行いました。講師は主として本年度、県上級指導者が当たり、午前中は実技全般とし例題をあげて説明をした後、全員でプレーし実践する。午後は会長、指導部長が講演した後、新規受講者には上級指導者が県協会の講習内容そのままを説明して、なお最後に簡単な、おさらい(テスト)を実施し認定書を交付し終了します。

又、既資格者に対しては、指導部が中心となり、指導上の問題点を課題別に説明した後、活発な質疑応答により共連認識を深めることとしています。

東 部 素晴らしい仲間 羽生市 植 竹 国 夫

明るく、楽しく、をモットーとして羽生市グラウンドゴルフ協会の平成十二年度は、加盟クラブ十三、会員数五三八名でスタートいたしました。

市協会主催大会として、年一回、春・秋に実施し、特に秋の大会は一般参加も求め普及に努めています。参加者は年々増え三三ホール、二班編成を採用していま

す。

他に研修会は上級指導者二四名が中心となり、技術の向上、ルール・マナーの徹底に取り組んでいます。また、県大会、北埼玉大会の開催地としての経験は、組織運営の面で大きな自信となっています。

更に日常的に単位クラブの活動が行われる中で協会として、夫々の活動日程を集大成して、フィードバックすることにより各クラブ間の交流が図れるよう努めております。

本部役員四四名は皆、経験豊富な方々で素晴らしいアイデアを提供願ひ、協会や大会運営に積極的な協力をいただいているところでもあります。

このような素晴らしい仲間と共に楽しい時を過ごせることは大変幸せなことです。

編集後記

二〇〇〇年行事もまずは無事に四分の三を終了し、ホッと一息といつところです。新しい世紀を迎える準備はいかがでしょうか?

発行予定ぎりぎりの大会結果を待つて大会特集としました。特に開催地での事前準備、大会運営に当たっては様々なアイデアが生かされ参加者の注目が集まるところです。

- 広報委員 鈴木 敏 男(草加市)
- 広報委員 古 谷 都志行(幸手市)
- (ブロック担当編集委員)

- 東部ブロック 田 畑 正 昭(岩槻市)
- 西部ブロック 大 沢 一 男(川越市)
- 南部ブロック 藤 野 湜(浦和市)
- 北部ブロック 島 田 重 郎(小川町)